



大川光一
35昭和25年生まれ、
才

現在、あのトラストの名義取締役。しかし彼の名は、309km/hのアラの栄光と共にある。自らも過激な走り挑戦し続ける男だ。



一貫してREチューンに取り組み、現在、REチューンでは、彼の右に出る者はいない。ストリートから耐久マシンまで作る実力派。

雨宮勇美
40昭和21年生まれ、
才

本誌に登場するチューンカーは、そのほとんどが有名チューナーの手によるモノ。そこで、ふだん誌面には出ないチューナーのプロフィールだ。

録(1) 本誌チューナー
人物事典 (50音順)



長谷川浩之
40昭和21年生まれ、
才

この人が、あのターボ・チューンの大御所HKSの社長なのだ。現在もレース用エンジンの開発に積極的に取り組んでいる。



時実昭臣
33昭和28年生まれ、
才



久保靖夫
51昭和9年生まれ、
才

“チューン”という言葉に我々のものにして、くれた名チューナー。彼のチューンした240ZGは、今でも“伝説的チューン”だ。



山本豊史
37昭和24年生まれ、
才

RS山本社社長。ロータリーカーブのチューンから始めて、今では日産車チューンがメイン。特にVGチューンには、定評がある。



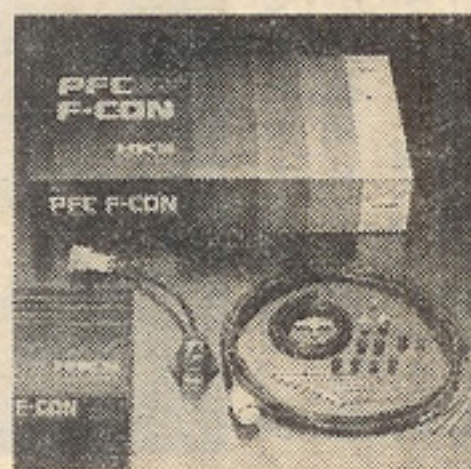
持田一臣
38昭和23年生まれ、
才



牧原道夫
32昭和29年生まれ、
才

関西チューニング界の雄、トライアルのオーナー。ターボチューンに強く、関西最速の307km/hは、あまりにも有名だ。

独特のターボチューンを誇るゴーイング東京社長。現在、コンピュータに精力的に取り組んでおり、つい最近フローレスを発表。



コンピュータは、今、エンジン特性を変えるほど重要なパーツだ。コレはHKS製Fコン

アップする。コンピュータチューンというのは、そのダマシのテクニックのこと。



コレがサブインジェクター。インジェクターは燃料を噴射する注射器だ

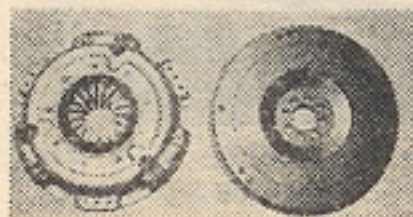
学力一段アップ!

必須上級用語

「ウォーターインジェクション」★★★…過給エンジンの吸入気に水を噴射する装置。これをやると、ノッキングしなくなり爆発的にパワーが出る。ドライバの目の前に装着しても、眠気さましにはならない。

「LSD」★★★…リミテッド・スリップ・デフアレンシャルの略で、差動を制限するクラッチを組み込んだデフのこと。飲んでも幻覚を見ることはない。

「ヘッド面研」★★★…通称、面研(めんけん)のことで、これはシリンドラーヘッド下面を研磨する作業。これにより、圧縮比を上げパワー増大を狙うのだ。

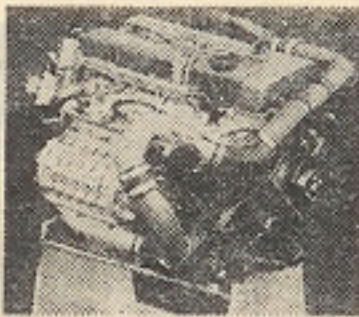


「軽量フライホイール」★★…エンジンのレスポンスを良くするために、軽量化を施してあるフライホイールのこと。軽量化はいつでも大体4~5kg程ある

り、持つと結構重い。「クロスミッション」★★★…ギア比の間隔を近づけ、パワーバンドを有効に使えるようにしたミッション。黒須サンという人が考えたという説もあるが、どうもウソっぽい。

「ターボマフラー」★★…出口に風車のついているマフラーのことではなく、ターボエンジン用に設計された抜けのいい排気システムのこと。(例) 80のターボマフラー。

「ダンドラ」★★★…吸入気が上から下へ抜ける、ダウンドラフト・キャブレターの略称。ロータリーにはこれが多い。



「ツインチャージャー」★★★…ターボ&スーパージョーといいた、2種類の過給器を組み合わせた過給装置。最近はこのくらいでないとイバれない。

「ハイカム」★★★…ノーマルに較べて、バルブリフトが大きかったり、開弁時間が長かったりするカムシャフトのこと。